

浦添市シルバー人材センター

10周年 記念誌

発注者のごとば	P18～
会員のこえ	P19～

発注者のことば



設立10周年を 記念して

浦添市シルバー人材センター
理事 岸 本 安 正

社団法人浦添市シルバー人材センターが、この度設立10周年を迎えられましたこと、設立時から理事としてたずさわってきた者としてここまで発展したことは感慨無量でございます。これも偏に行政当局をはじめ関係各位のご支援とご配慮の賜物でございます。心から感謝と御礼を申し上げ、皆様と共に祝い申し上げます。

当センターは会員数430余名に達し、年間受注高も2億余円の実績を上げており、県内9シルバーセンターでも上位にあります。これは事務局をはじめ会員各位のご努力の成果でありますことは申すまでもございません。心から敬意を表します。

慶応義塾を創立したあの偉大な教育者であり、社会学者でもあった福沢諭吉翁の7訓の一節に次のような教訓を述べておられます。『世の中で一番寂しいことは仕事の無いことである。』と勤労の尊さを教えておられます。

そして会員皆様は過去に幾多の職種を経験してこられたプロでありますので、仕事を頼んでも質の高い仕事をやってくれますので安心です。

これからも進む高齢化社会においてシルバー人材センターの役割は大きなものがありますし、また会員の健康維持にも大変役立ち生きがいを感じさせてくれるものと思います。私共の会社においても常時10名ほどの会員のご協力を頂いております。

それでは浦添市シルバー人材センターの限りないご繁栄と会員皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ、今後とも地域の皆様一層のご支援賜らん事お願い申し上げます。浦添市シルバー人材センターの設立10周年を心からお祝い申し上げます。



設立10周年を記念して

日本障害者雇用促進協会
沖縄障害者職業センター

所長 仲 里 初 男

浦添市シルバー人材センターの設立10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

沖縄障害者職業センターが、浦添市シルバー人材センターより設立10周年記念祝賀会において、優良事業所として表彰をいただいたことに対して厚くお礼申し上げます。

当センターが浦添市シルバー人材センターとの関わりは、10年前にシルバー人材センター連合を設置したことを広報紙等で知り、沖縄障害者センターも積極的に活用することがシルバー人材センターが発展すること、また私達障害者センターが浦添市にお世話になっていることもあり職員の同意のもと少ない予算ではあるが掃除婦をお願いすることにしたのであります。

シルバー人材センターからこられた掃除婦の方は、午前中の勤務時間の中で真面目に精一杯仕事をしていただき、また挨拶・礼儀正しく職員から信頼される方々でした。

おしくも、沖縄障害者センターは平成11年3月26日付で那覇市上之屋の新都心の方に沖縄職業総合庁舎を建設して移転することになり、これまでお世話になった浦添市のシルバー人材センターとも掃除婦の方ともお別れすることになり、また浦添市には障害者職業センターが16年余もお世話になったことに対して、深く感謝申し上げます次第であります。

急速に少子・高齢化社会が進展する中、いずれは私どももお世話になること否定できないことでもあります。シルバー世代が気持ちよく過ごせる社会の整備受入体制の確立とシルバーの方々一人ひとりが若いとき身につけた技術・技能を生かして社会に貢献する心と意欲が大切であるのではないのでしょうか。

一方、厳しい経済状況の中で、企業側は「安上がり求めてシルバー人材を利用するのではなく、社会・福祉の立場でシルバー人材を活用する気持ち大切です」と思います。

これからも益々シルバー人材センターのご発展を心からお祈りいたします。

会員のこえ



一会員として

宮内 初雄

シルバー人材センター設立10周年誠にありがとうございます。シルバー人材センターに登録させていただき9年余となりました。幸い健康に恵まれ一社会人としてシルバー人材センターの仕事に参加できる喜びを毎日味わって居ります。

この度の10周年記念には総勢70人の会員と共に琉舞に参加できました事一生の思い出としてほこりに思っています。

今後とも事務局ならびに会員の皆様とのふれあいを大切に知識を重ね健康で明るく信頼される会員でありたいと願っています。

これからの高齢化社会に立ち向かい地域社会の交流を大切に高齢者に生きる力と働ける喜びを与えてくれる様に活気ある人材センターを目指してこれからも頑張りますので宜しくお願い致します。最後に当シルバー人材センターの益々の御発展をお祈り致します。



「設立10周年を迎えて」

平良 作弘

シルバー人材センター設立10周年誠に御目出度うご座居ます。一大行事を開催するに当たり役職員及び会員の皆様には大変なご苦労もあった事と感謝して居ます。振り

返ってみますと平成3年9月、市の広報誌に依りシルバー人材センターのある事を知り老いの身の健康管理と働ける楽しさ、地域社会に役立つ、個人個人に適応したシルバー人材センターと理解し入会しました。その間種々な業務に携わって来ましたが現在は(株)リウコム of データ授受業務と市役所環境保全課より委託の資源ごみ分別作業に共働・共助の理念の基にお互い切磋琢磨して楽しく働かしてもらって居ります。

今度の創立10周年記念事業に於いては、事務局長を中心に行事検討委員会が組織され、当シルバーセンターの事業実績と事業理念を内外にアピールする目的から数回に亘る検討委員会の結果、盛大且つ感動的な記念行事であったと思います。当日は、事務局職員と会員が業務分担に協力しあい、受付から招待者の案内も左程の混雑もなく、定刻の式典が進行され、引き続き祝賀会に於ける余興では職員及び会員が花を添え、悦ばしい極みでした。意義ある10周年を節目に役職員会員が益々連携を深め、浦添市シルバー人材センターの発展と地域社会の為に頑張ろうではありませんか。



シルバー人材センターの活用

岸本 孝司

私は現在軽作業班に所属し主に文化財の発掘作業に従事して居ます。平成5年に39年間務めさせて貰った職場を停年になり、第二の人生は自由な時間が出来たので、現役時代に出来なかった趣味を存分に楽しもうと喜び勇んだものでした。しかしそれは始めのうちで3ヶ月もすれば、友人各自が色々

と都合がつかず共に行動する人数も少なくなり、暇があっても自分一人で行動するのも億劫となり朝はだらだらと朝寝、昼はテレビの前で昼寝半分の老人暮らし、心・気・体ともに老化の一途をたどる一方で自分でもどうしてよいのか判らなくなる日々が続いて居た。元来意志薄弱で物事にルーズな私は早起きウォーキング、ジョギング等計画してみたが三日坊主の計画だおれ、読書と気取ってみても1時間もすれば目がちかちかとして瞼が合掌、白河夜舟と無意味に過ごして居ました。そんな時に職場OBの気のあった数人の集まりでシルバー人材センターの事を知ったのです。居住市町村のシルバー人材センターに入会すれば各自の能力や体力に応じた仕事ややってみたい仕事を紹介して貰え、更にピクニック、ゲートボール大会等の行事に参加し地域との交流も出来、知人、友人の輪も広がるとの話でした。平成6年6月に意を決し浦添市シルバー人材センターへ入会したのです。事務職員の対応は、私の思い込みに反し親切丁寧で、細部にわたり説明され好感の持てる対応でした。仕事の件についても色々と問われたのですが、手に職のない私は軽作業の申込みをしました。1週間程して作業に来る様にとの連絡があり、除草班の後片付け清掃作業から始め、その後刈払機の講習を受け刈払機使用の除草作業や学校プールの管理、市教育委員会文化課の文化財発掘作業等集団で働く喜びを満喫して居ます。安全講習や剪定講習も受け今では人並みの技術も身に付き、自立、共働共助の理念のもと現役時代の体調をとり戻し社会奉仕、健康で医療保険の世話にならないのもその一端と心得、介護保険制度も他人事と、健康に留意し毎日を元気に頑張っています。

より多くの新入会員との出会いを楽しみに又配分金も



幸福と生きがい

金 武 千 代

浦添シルバー人材センター設立10周年おめでとうございます。

10周年記念に何か一筆をとのお電話がかけ、何の取柄も才能もない私ごとき者にといいながらもありがたいお言葉を素直にお受け致しました。

現代の高齢社会の中で、私もその一員として何かお役に立つ事はないものかと常日頃思っている毎日でございます。

世の中の変化も著しく、若者のファッションを始め、見方考え方の違いに遅れをとらないよう努力しているつもりでも、息子や娘にアドバイスを求める身になりました。その私に意見を求め、訪ねて来てくれる時は、大げさに思えるかも知れませんが「生きている今」を実感します。

月日の経つのは早いもので楽しい仲間作り、そして少しでも地域社会に役立つ老人を目指して、共働、共助の精神で私はもはや10年もシルバーで働いてしまいました。毎日が楽しくて、これが老人の生きがいかと感謝致しております。昨日、今日そして明日、毎日が幸せで暮らせる事を私は希っています。

これからも職員と会員との信頼関係を大切にしながら、当シルバー人材センターが益々発展する様に、皆様と共に健康に心がけ頑張りたいと思います。



シルバー人材センター 10年余を振りかえって

崎 浜 秀 吉

「光陰矢の如し」ひびきのある言葉であると私は思っています。

昭和63年以前は、働く者は主に青壮年で、60歳を過ぎ定年を迎えると隠居し余生を楽しく過ごすというのが社会一般の通念であると思っていました。私もその内の一人でありました。が、しかし、私はまだ元気で働けると思っていた矢先に、浦添市でシルバー人材センターなるものが設立され、シルバー要員の募集があり、私は当山老人会「白寿会」の会合で会長より入会してみないかと言う誘いの言葉をうけ早速入会申込みをする事にしました。

入所当時は多少の不安がありましたが、いざ入所してシルバーで働く様になると、今迄の不安は何時のまにかなくなって楽しく働く様になり毎日が充溢したものであった。始めの内は会員どうしの会話もなかったが、何時の間か話はずみ冗談も出る様になりなごやかな毎日で、友人としてのきずなもますます深まるようになりました。設立当時は老人が団体で仕事をする機会は、容易ではなく物珍しさも手伝って仕事の方は次から次へと増えていきました。又私達シルバー要員も若者に負けては行れないと思って一生懸命男女共に頑張ったものである。北は石川市、南は糸満市という様に仕事の範囲は広がり仕事の量も日毎に増し、こなしでもこなしでも次から次へと申込みがありました。設立当初は男性女性の区別はなく共に仕事に就いたものであります。仕事の方は男女共に出掛けたものである。

いざ仕事に就いてみると若者顔負けの仕事ぶりに私自身驚いたものであります。二、三年経つと仕事の方の要領も覚え仕事も設立当初よりはかどる様になり浦添市シルバー人材センターの評判も良くなり、私達シルバー要員は鼻高々であった。その為にも今でも設立当初に入所した私達は浦添市シルバー人材センターの「パイオニア」であると心ひそかに自負している。四、五年経った頃にシルバー人材センターも整備され、男性の仕事、女性の仕事という様に区別されて仕事に就く様になり、今では沖縄のシルバー人材センターの中では一、二を争う迄になったものと思慮する。

社会の人々に老人だからといってあまえる事なく、これからも益々元気に社会の為に頑張っておられた余生を健康に気をくばり、元気で働く事を心に誓っています。最後に浦添市シルバー人材センターの益々の発展を願ってペンを止めます。



感謝状・表彰状 受賞者ご芳名

(敬称は略させていただきます。)



感謝状

〔 設立当初から引き続き発注
を賜っている事業所・個人 〕



● 事業所

株式会社 ナイソ	代表取締役	運道武弘
A & W 牧港合名会社	代表社員	平良幸雄
日本障害者雇用促進協会 沖縄障害者職業センター	所長	仲里初男
株式会社 沖縄土木設計コンサルタント	代表取締役	比嘉弘政
株式会社 鳥袋	代表取締役	鳥袋盛仁
株式会社 メイクマン	代表取締役社長	岸本安正
医療法人 仁愛会 浦添市総合病院	理事長	宮城敏夫
株式会社 ワールド設計	代表取締役	小林文男

● 個人

松本トミ



役員表彰者

理事・監事として引き続き
5年以上在任した役員



理 事	安 里 武 泰
初代理事長	④ 佐久本 嗣 善
理 事	岸 本 安 正
理 事	平 良 平 太 郎
理 事	宮 城 義 雄
理 事	親 富 祖 政 吉
理 事	比 嘉 安 正
理 事	宮 平 昇
理 事	久 貝 恵 吉
理 事	上 地 安 盛
理 事	吉 濱 活
前 理 事	前 島 明 男
前 理 事	知 念 正 仁
前 理 事	知 名 定 彦
前 理 事	善 平 朝 俊
前 理 事	具 志 川 静 江
前 理 事	赤 嶺 光 子



会員表彰者

〔 設立時から、現在まで
就業活動を続けている会員 〕



上 安	地 谷	安 エ	盛 ミ	新 宮	城 城	シ 文	ズ 子
松	屋	壮	行	上	原	ト	子
宮	長	良	吉	宮	城	サ	子
島	城	三	郎	上	地		勇
宮	袋	文	子	宮	城	ツ	ル
比	城	信	雄	源	河	朝	信
与	嶺	キ	エ	大	城	文	次
美	那	ク	司	花	崎	長	栄
山	底	清	栄	吉	長	武	司
新	根	蒲	郎	新	垣	道	子
宮	門	太	助	金	武	千	代
赤	平	仁	道	久	堅	ト	ミ
池	間	幸	吉	久	貝	惠	吉
金	村	栄	伝	高	原	玄	昌
下	城	春	光	池	宮	智	惠
西	地	ハ	ツ	泉		勝	也
備	表	ト	子	崎	浜	秀	吉
石	瀬	ミ	郎	仲	根	朝	章
棚	川	太	良	赤	嶺	清	吉
具	原	真	江	新	里	典	久
嘉	川	静	子	金	城	静	子
嘉	数	カ	信	宮	内	初	雄
久	納	ツ	徳	当	真	嗣	俊
宮	手	良	清	比	嘉	サ	ダ
森	堅	憲	雄	古	蔵	善	光
	城	仁					
		並					

会員表彰者

5年以上模範会員

比砂上比嘉銘粟宮城金宮上當我親伊平金川比根上中名大	嘉川原嘉陽苺国国間城城地間古祖波良城口嘉間里村嘉山原	善金トツ幸盛清金幸英義ミ盛豊政秀作武倉哲完幸照正義千	英五郎シ子一喜郎子次雄オ吉松市雄弘男三男治徳雄吉雄代	西上翁島仲宮交名親川与根宮垣大浦金吉田平具神与安石比	原地長袋根城野嘉祖滿儀間城花城崎城濱盛良堅村嶺里嶺嘉	春善武重清豊中ヒ恵ヨ正武信直廣秀宏禎栄武武静	子市春宏雄一二雄デ吉栄シ雄光雄棟善活浩雄幸一一秦男子	粟幸比翁翁宮松翁長盛平東呉松伊安饒又又比豊平与金前佐	国地嘉長長良本長浜島良江屋堂禮屋吉吉嘉元良霸城田多	健康秀盛ユ廉秋ツ繁富米栄正正健美元通春好恵芳実芳	三信範保キ弘吉ル徳子子一徳務雄治弘子徳吉子功良和三久
---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------



職員表彰者

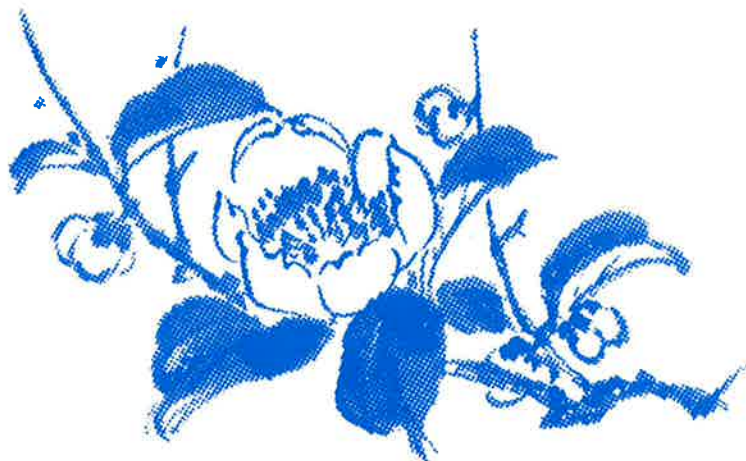


職員 玉城勝子

初代事務局長 ④ 仲村昌徳

職員 比嘉秀三

職員 親富祖政義



◆ 歴代役員一覧

職名	年度		1期 63	2期		3期		4期		5期		6期	
	氏名	任期 年度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
理事長	佐久本	嗣善											
〃	又吉	幸一											
〃	照屋	寛順											
副理事長	石川	仁榮											
〃	前島	明男											
〃	吉村	清一											
〃	宮里	親一											
常務理事	宮城	義雄											
〃	真栄城	秀信											
理事	平良	泉幸											
〃	岸本	安正											
〃	平良	平太郎											
〃	宮平	昇											
〃	赤嶺	光子											
〃	親富祖	政吉											
〃	佐久川	昌次郎											
〃	具志川	静江											
〃	善平	朝俊											
〃	知念	正仁											
〃	知名	定彦											
〃	新城	豊一											
〃	比嘉	安正											
〃	安里	武泰											
〃	比嘉	輝子											
〃	久貝	恵吉											
〃	吉濱	活盛											
〃	上地	安盛											
〃	下地	久子											
〃	宮城	義雄											
〃	具志堅	宏幸											
監事	照喜名	重信											
〃	前島	明男											
〃	赤嶺	洋海											
〃	又吉	ツル子											
〃	平良	健治											
〃	宮平	民雄											
〃	安里	尚肇											
〃	西平	実											

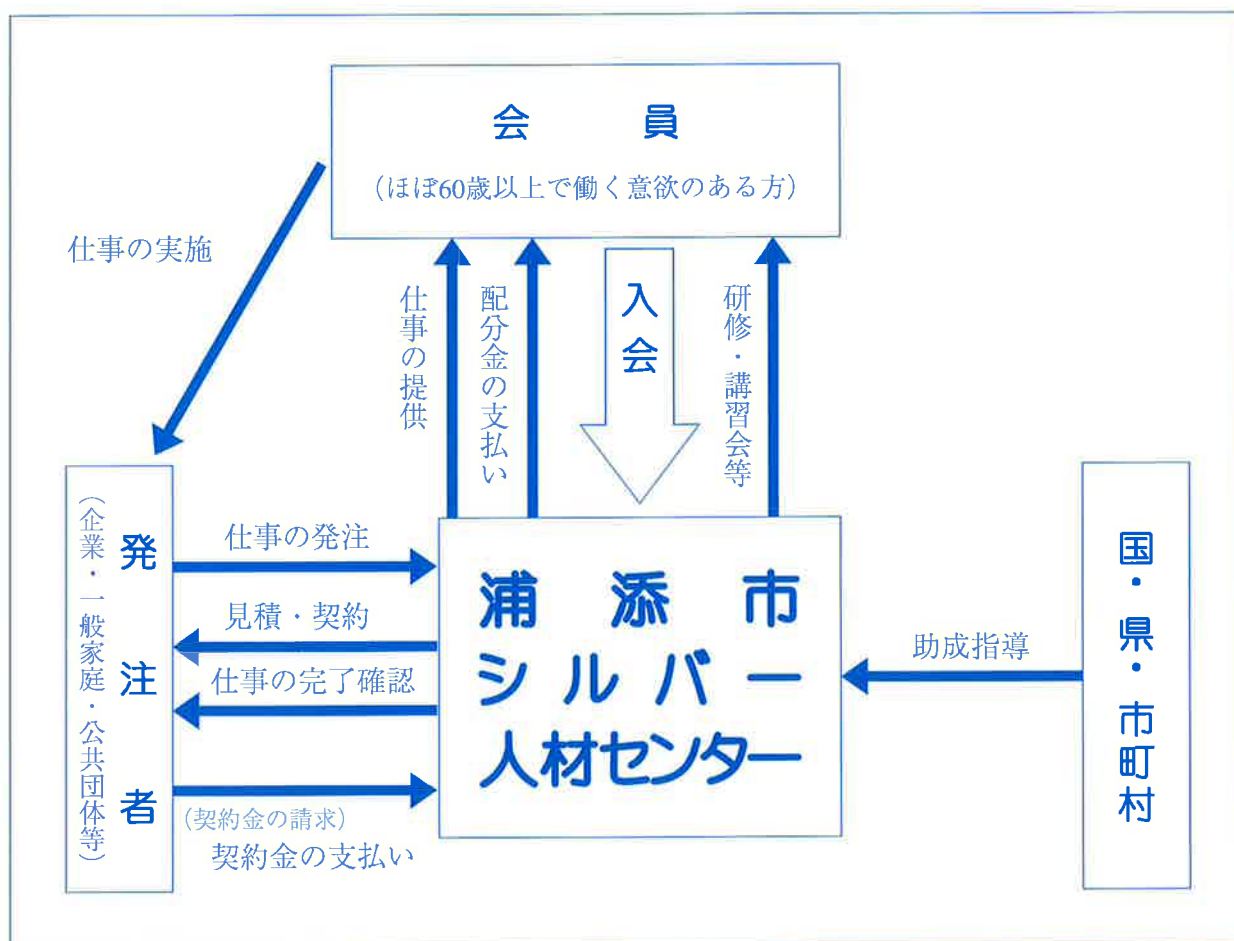
◆ 歴代事務局長一覧

氏名		年度	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	備考
仲村	昌徳													初代事務局長
平良	健治													2代事務局長
金城	正則													3代事務局長
真栄城	玄誠													4代事務局長

◆ 歴代職員一覧

氏名	年度	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
親富祖 政 義												
比 嘉 秀 三												
玉 城 勝 子												
喜 舎 場 進												

シルバー人材センターのしくみ



基 本 理 念

自主

自分のものとして考え

自立

自分たちの力で育てる

共働

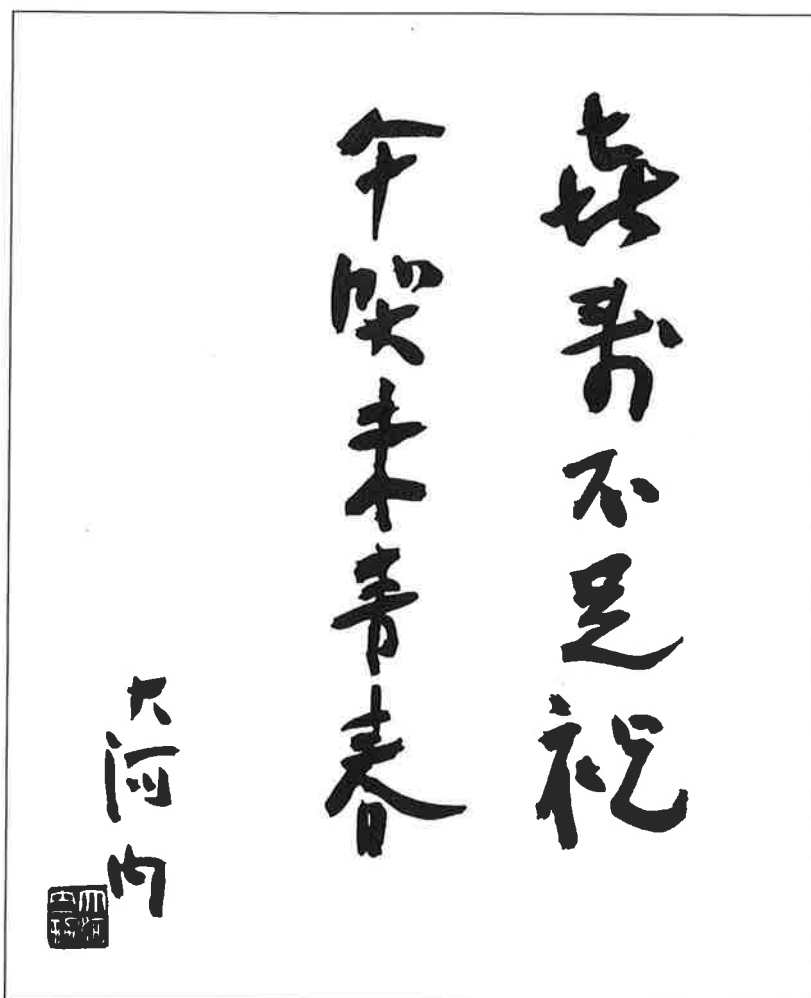
一緒になって働く

共助

互いに助け合い

年度別事業実績の推移

区分	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
会員数	324名	266名	234名	260名	332名	377名	370名	365名	365名	401名
受注件数	963件	1,557件	1,896件	1,787件	1,933件	2,087件	2,070件	2,163件	2,288件	2,523件
就業延人員	8,714人/日	17,740人/日	22,483人/日	22,918人/日	26,184人/日	27,622人/日	30,127人/日	31,698人/日	34,014人/日	34,674人/日
就業実人員	165名	180名	186名	201名	236名	251名	249名	256名	283名	305名
就業率	50.9%	67.6%	79.4%	77.3%	71.1%	66.6%	67.3%	70.1%	77.5%	76.1%
正規職員数	4名	4名	4名	4名	5名	5名	5名	5名	5名	5名
受注契約額	44,752千円	98,599千円	124,959千円	141,089千円	160,539千円	158,447千円	182,932千円	198,696千円	213,351千円	214,964千円



「^{きじゆ}喜寿（77歳）^{いわ}祝うに^た足らず、^{さん}傘賀（80歳）^がいまだ^{せいしゆん}青春」

シルバー人材センターの創始者、元東京大学総長
大河内一男先生の直筆。

編 集 後 記

設立10周年の歴史の中で、会員、役員、事務局職員、地域、行政が一体となって協力してきた歩みを簡潔にまとめ、今後のシルバー発展に資するというのが編集方針でした。

原稿執筆依頼、資料収集、写真整理、校正など短期間で行ってまいりました。

会員、役職員、地域や行政の人たちの思いを～21世紀への贈り物～として記念誌「浦添」に残すことができたことを大変嬉しく思います。

お忙しい中を原稿をお寄せ下さった方々、資料を提供して下さいました方々、多くのご助言、ご協力をお寄せ下さった方々に深く感謝を申し上げます。

編集委員長



シルバー人材センター
シンボルマーク

~~~~~ 地域社会のお役に立つ ~~~~~

社団法人 浦添市シルバー人材センター

〒901-2103 浦添市字仲間1281番地

☎ (098) 875-1701 (代)